

北海道別海高等学校 農業特別専攻科

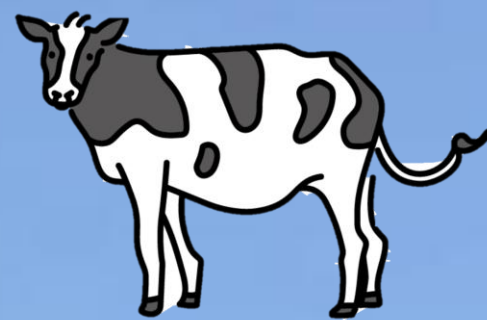
Continuing Education Course in Dairy SINCE 1972



酪理実践

酪農の理論と実践を学ぶ

北海道別海高等学校 農業特別専攻科



Continuing Education Course in Dairy SINCE 1972

日本一の酪農王国 別海町で働きながら学び、同じ夢を持つ仲間を作りませんか！



農業特別専攻科とは

- 01 自家や牧場で働きながら、通学できます。
- 02 夏は牧場で実践を、春・秋・冬は通学して酪農の理論を学べます。(6-9月は自宅学習期間)
- 03 修業期間2年・高等学校卒業以上対象
- 04 農業次世代人材投資資金制度対象校(要審査)

🐄 時程 🐄

- ① 10:50-11:40
- ② 11:50-12:40
- ③ 13:25-14:15
- ④ 14:25-15:15



専攻科の学び・学校生活

POINT 1 酪農に関する多様な専門科目

酪農概論・乳牛飼養学・乳牛繁殖学・乳牛疾病学・草地生産学・酪農科学実験・など、酪農を行う上で必要な理論を学べます。

POINT 2 外部講師による授業

農業協同組合・農業改良普及センター・NOSAIなど関係機関や、飼料・薬品・資材など関係企業に依頼し、高度な知識や技術、より実践的な授業を受けることができます。
(全20回以上実施)

POINT 3 豊富な視察研修

全8回の酪農技術現地研修会と学生の希望に合わせて、町内外の酪農家や、関連施設への視察研修を実施しています。
また年1回、他管内に2泊3日の牧場視察研修を実施しています。

POINT 1 家畜栄養学 実験の様子



POINT 2 普及員による授業



POINT 3 管内の酪農家への視察



POINT

4

研究活動（1年目：基礎研究 2年目：修了研究）

1年目は、自家経営の内容を把握するために様々なデータを採取し、修了研究に向けた予備調査研究を行っています。

2年目は、自家経営の実態に即した経営改善や普段の作業内容改善など疑問に思うことや開発に関する研究・調査を行っています。

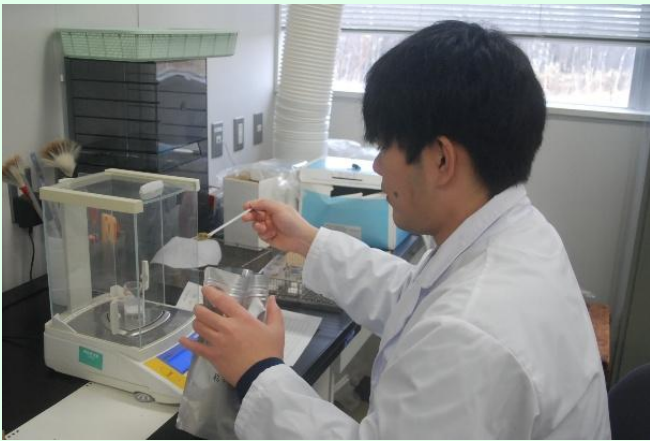
令和7年度の研究内容

■ 1年目 基礎研究

「我が家の経営実態調査」

■ 2年目 修了研究

「周産期疾病の低減を目指して」



POINT

5

海外実習（ニュージーランド研修）

2年次に約60日間、ニュージーランドで放牧酪農について学び、異文化で生活することで、知見を広げることが出来ます。（要審査）

実施内容

期間 🐮 10月-11月〔約60日間〕

場所 🐮 オークランド近郊 費用 🐮 100万円前後
（補助最大60万円）

形態 🐮 ファームステイ（放牧酪農）



ご 相 談 に 応 じ ま す ！

🐮 酪農ヘルパーなど正規従業員として法人や農場で働きながら、通学可能です。

🐮 実習生用の間借・社宅・住居借入など、ご相談に応じます。

（移住等により一部補助あり）



入学にあたって

専攻科で目指す人物像

- 1 この上なく牛を愛し、勤労をいとわず、酪農を天職と確信する人。
- 2 絶えず疑問を抱き、理論と実践力を兼ね備えた考える酪農経営者を目指す人。

入試日程

募集人員20名

🐮 **出願期間** 令和9年(2027年)1月7日(木)から
令和9年(2027年)1月15日(金)正午まで
(日曜日、土曜日及び休日を除く。)

🐮 **検査日** 令和9年(2027年)1月29日(金)

🐮 **検査方法** 作文・面接

🐮 **合格発表** 令和9年(2027年)2月5日(金)

年間必要経費(予定)

1年次

学校全体に係わる費用
44,730円

専攻科学生に係わる費用
55,270円

合計 100,000円

2年次

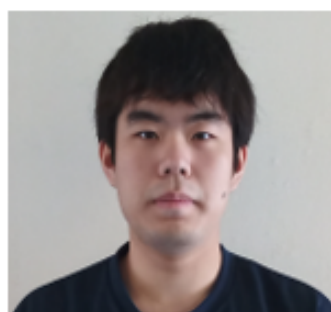
学校全体に係わる費用
43,730円

専攻科学生に係わる費用
46,770円

合計 90,500円



在学生の声



2年目学生
野田 隆世さん

私は昨年高校を卒業し、実家で酪農を営んでいます。普通科を卒業したため酪農に関する知識がなく、父の薦めもあり専攻科に入学しました。専攻科は、仕事と学校の両立ができ、牧草の収穫時期には授業がないため、仕事を優先することができます。

個人的には、普通の座学に加え、地域との様々な関わりを多く持てるのが魅力の一つだと思っています。農協や普及センター、酪農家との交流を深めることができ、スマホでは出来ない地域との関わりを持つことができます。



1年目学生
木村 滉起さん

私の家は酪農家です。今年の3月に別海高校酪農経営科を卒業し、もっと酪農について詳しくなりたいと思い、家で仕事をしながら通える専攻科に入学しました。今は基礎研究で自分の家の経営について調査しています。専攻科では自分の家が教材になるので、とても勉強になります。後期から始まる家畜繁殖学の講義を楽しみにしています。

また、専攻科の2年間を通して自家の経営を把握し課題を見つけ、その課題を改善していきたいです。



お問い合わせ先

北海道別海高等学校 農業特別専攻科

〒086-0214

北海道野付郡別海町別海緑町70-1

Tel. 0153-75-2053 Fax. 0153-75-2263

E-mail. bekkai-z4@hokkaido-c.ed.jp



別海高校HP